

お母さんありがとう

栃木県 大田原市立紫塚小学校 六年

高塩 菜々

私の母は、マラソンの練習が大好きだそうです。なぜかという、大人になると走るきかいがなからだそうです。また走るために努力をつづけるということは、めつたにないといひます。だから、今、走るチャンスがあるときにこの楽しさを、めいっばい味わつておこうともいひます。

夏休みに入るとわが家では、マラソン大会にむけての練習が冬まで続きます。

私は上のお兄ちゃん、お姉ちゃんが毎日練習しているのを小さいころからみていました。「ごめんね、これは2人だけの大切な時間なの。少しだけがまんして。」といひつて、絶対につれていひつてはくれませんでした。

まちにまつた私の練習の番。それはとても楽しく、母が私だけにくれる時間です。走りながら、木をみてごらんとか、歌を心で歌つてごらんとかいろいろなことを教えてくれました。走れば走るほど体が軽くなることも知りました。ただ毎日つづけるということは、とても大変でした。五年生の時は、やめたくなることがとくにありました。友達と遊んでみたくなつたり、部活の練習のあとは、くたくたでやりたくない日もありました。

でも母は、(私もこの練習のために時間をつくつてゐるの。おたがいがんばろう)と、背中をおしてくれました。夜ねる時も、(明日の練習楽しみたな)と、うれしそうにいひます。私の事なのにいっしょに楽しんでくれました。「どうして?なにが楽しいの?」と、聞くと、私のがんなる姿は、母の元気の

もとになるらしいのです。なんだかよくわかりませんが、とてもうれしかったです。

おかげで、私は三年生の時以外学校のマラソン大会で一位をとり続けることができました。でも、それよりも一番うれしかったのは、母が「がんばれー」つて、いつも応援してくれたことです。走り終わった後も、必ず空を見上げてごらんといひつてくれました。

二人でみる空は、とてもきれいでした。どこまでも広がる青い空、きれいな星いっばいの空、大好きな、母のとなりでみた空は、私の心をスツとさせてくれました。

きつと、私は、母のささえがなかつたら、今まで続けられなかつたでしょう。

苦しくて、つらい時もあったけど、がんばつてよかつたです。がんばつたからこそ、こんなに空のきれいさも、支えてくれる人のありがたさ、そしてすきなだけ走れる健康のありがたさも感じる事ができました。

すべては、母が教えてくれたことです。

(ママありがとう。ママが伝えようとしてくれたことはちゃんと私の胸に届いたよ)

そして今年は六年目の夏になります。

私にはどんな空がまつてるか楽しみです。六年生最後の夏、走れることに感謝して、めいっばい、楽しみたいと思ひます。